

中沢かつゆき 通信

自民党鎌倉市会議員

<http://www.nakazawa.jimusho.jp>



市政に関するご要望、皆さまの声をお聞かせください！



自民党鎌倉市連合支部青年局長

衆議院神奈川4区支部長決定！

昨年12月、自民党神奈川県連は衆議院神奈川4区の支部長の公募を行いました。鎌倉支部として選考委員に選出され、選考委員会に参加しました。予想をはるかに上回る応募があり、1次2次書類選考を行い面接を行いました。年が明けて1月10日、最終選考に残った方と面接を行い、「山本朋広」さんを選出しました。県連総務会での最終決定を経て、神奈川4区支部長として決定をしました。全国でも稀にみる激戦区である神奈川4区で議席を奪還すべく、4区の自民党一丸となって応援していきます。新支部長には、一日も早く4区の顔となってほしいと思います。

新神奈川4区支部長 山本朋広さん

昭和50年6月生まれ 35歳

京都大学大学院卒業

松下政経塾、ジョージタウン大学での政策研究、会社勤務を経て

平成17年衆議院議員に当選(1期、平成21年まで)

現在 会社員

家族 奥さん

青年局について

自民党鎌倉市連合支部では、より若い世代の声を聞こう、もっと政治に関わっていただくということで青年局の拡充を図ることとしました。かながわ自民党では、学生部、青年局、40代組織と若い世代で活躍する自民党員が増えています。自民党が野党となって、今こそしっかりと地盤固めをしていかなくては、若い世代の自民党員の育成をしなくては、と勉強会や街頭活動、選挙の手伝いなどをしています。学生部の勉強会に出席しますと、将来をしっかりと見据えた考えを持っている人たちに、ある意味驚いています。選挙権のまだない仲間も、一緒に活動しています。子育て世代の青年局では、政治家を目指す人、自民党に頑張してほしいと思っている人、子育て環境をしっかりとしてほしいと思っている人、様々な仲間がいます。県議選候補予定者と市議選候補予定者がいます。青年局は39歳までですので、今までは40歳になると卒業でした。しかし、全国で初めて40歳代の組織「不惑天命の会」を立ち上げました。現職議員は横浜市議と私が参加しています。仲間からは、衆議院選挙区支部長や県議選候補予定者もでています。定例会では、今の日本のあり方について、子供たちが大人になった時の日本について、真剣に議論をしています。政策提言もしました。

鎌倉市連合支部青年局では、古都鎌倉に住んでよかった、訪れてよかった街として次代まで残していかなくては、という強い思いでいます。まずは統一選での勝利を目指し、活動を行っていきます。そして、もっと仲間を増やしていきたいと思っています。より多くの仲間の参加を呼び掛けていきたいと思っています。

4月の統一選について」

4月に行われる統一選での公認候補予定者として、自民党神奈川県連は中村省司県議を選出しました。中村県議は、4年前議長の重責を果たされ、現在は県連副会長として活躍されています。鎌倉市が事業を行うとき、予算規模が大きくなりますと県の補助を受けますが、景気低迷の中、予算縮小で補助金も少なくなっています。加えて現政権になってから、次年度補助金の行方が全く読めないことから、事業計画も立てられなくなっています。こうした現状、中村県議に鎌倉のために活躍いただき、県と連携して鎌倉で課題となっている事業を行っていかなくてはならなくなっています。中村県議に果たしていただく役割が、より大きくなっています。海岸線の砂入れ、がけ地対策、県道の整備、小袋谷跨線橋整備、フラワーセンター、これらは県の事業です。近年大規模災害が起きていますが、広域防災の必要性が叫ばれ、県との連携は防災上欠かすことができません。訓練も広域訓練が行われるようになっていきます。地域課題では、砂押川歩道整備には県の補助が必要です。若宮大路の電線地中化や小町通りの電線地中化も、県との連携でできました。

今回の統一選は、自民党が野党となって初めて迎える統一選です。1年半前自民党に厳しい審判が下されました。多くの有能な議員が落選しました。その痛手から立ち直れていない選挙区もあります。しかし、鎌倉では中村県議の活躍があり、台風で流出した海岸線の砂入れや急傾斜地対策、広域防災整備など多くの課題が進んできています。地方分権が言われる中、地方の果たす役割が大きくなっています。地方議会の果たす意義が大きくなっています。経験と実績、人脈の豊富な県議が、今の鎌倉には必要です。

4月の統一選では、自民党復活の第一歩として、一人でも多くの仲間を増やさなくてはと思います。地方から再生を果たさなくてはならないと思います。

自民党員募集

自民党鎌倉市連合支部では、自民党員を募集しています。自民党員として自民党をお支え頂き、地域での活動をお願いしています。青年局では、定期的集まって、鎌倉での課題や政治に対する考えなどを話し合っています。次代を担う子供たちに、胸を張って残せる鎌倉にしたいと思っています。一緒に活動をしていただける先輩、同世代の仲間、そして若い世代の党員を募集しています。

詳しくは、メールでお問い合わせいただくか、鎌倉市連合支部までご連絡いただきたいと思ひます。

自民党鎌倉市連合支部

TEL 25-2515

mail:nakazawa@nakazawa.jimusho.jp

中沢かつゆきの経歴

経歴：昭和41年6月生

群馬県立渋川高等学校卒業

東京電機大学理工学部情報科学科卒

スパライズ株式会社代表取締役

大阪観光大学観光学研究所

客員研究員

鎌倉中央ロータリークラブ理事

材木座保育園保護者会会長

にかいどう子どもの家父母会会長

鎌倉市テコンドー協会顧問

県議会議員中村省司秘書

著書「安全な温泉・あぶない温泉」

(草思社刊)

二階堂在住

事務局：Tel 0467-61-0305

Fax 0467-61-0315

ほっと、一息：日頃の疲れを、温泉で癒してみませんか？



* 中沢は温泉コンサルタントでもあります *

箱根温泉：神奈川の温泉として、都内を始め最近では外国の方にも人気の箱根温泉。小田原で箱根登山線に乗り換え箱根湯本。早川を窓外に15分ほどの電車旅。1月2、3日の箱根駅伝は、毎年感動を与えてくれます。古くは箱根7湯といわれていましたが、現在は20湯。バラエティーに富んだ泉質があり、症状によっていろいろな温泉を巡るのもいいかも。箱根湯本からは箱根登山電車に乗り換え。6月には「あじさい電車」としてライトアップされたあじさいの中を走り抜けます。強羅からはケーブルカー。早雲山からはロープウェー。交通手段も様々なものがあるのも、ここ箱根の特徴です。2008年に廃校となってしまいましたが、「温泉小学校」は授業で入浴があったことでも有名でした。豊臣秀吉の小田原攻めの時、遅参した伊達政宗が謹慎させられていたのもここ箱根。四季折々の姿があり、泉質も歴史も様々な宿があり、海の幸山の幸に恵まれた地にある箱根は、これからも日本人だけでなく外国の方にも「日本らしさ」ということでより人気になっていくことでしょう。 <http://www.hakone-ryokan.or.jp/index.html> <http://www.hakone.or.jp/>